

## 編集後記

本号の巻頭言は谷口博昭教授にお願いいたしました。

「技術と経営の協調により持続的発展を」と題して、技術は個人の能力に帰する技能と異なりシステム体系を構築することが肝要であること、またマネジメントについて大きな変化の時代に適切に対応するアダプティブな経営が求められていることなど、様々な視点から貴重なご意見を頂いております。先生にはご多忙のところ玉稿をお寄せ頂き、誠に有り難うございました。誌面を借りまして厚く御礼申し上げます。

今回の技報において、宮地の開発商品である「鉄道用FRP壁高欄」やモニタリングシステムの「OSMOS」などについて紹介しております。その他に、大断面ブロックの送出し架設工法からティルティング鉄塔を用いたケーブルエレクション架設工法など多方面にわたった架設工事報告について掲載しております。これらの報告が今後の橋梁の新設工事や補修補強工事に関する技術の向上への一助となれば幸いです。

最後になりますが、本号は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり発刊を延期しておりましたが、執筆者を始め多くの関係者のご協力により本号を発刊することができたことに深く感謝いたします。

## 宮地技報編集委員会

委 員 長	上 原 正				
副 委 員 長	平 島 崇 嗣	河 西 龍 彦	越 中 信 雄		
委 員	安 藤 正 志	梅 沢 真 悟	池 田 浩		
	嬉 克 徳	奥 村 恭 司	戸 井 口 由 和		
	永 谷 秀 樹	野 沢 栄 二	藤 井 利 明		
	松 本 博 樹	宮 下 和 義	村 井 向 一		
	村 上 貴 紀	吉 川 薫			
事 務 局	田 村 修 一	横 澤 幸 貴			

### 宮地技報 第33号

発行日 令和2年11月30日

発行所 宮地エンジニアリング株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号

TEL 03(3639)2111(代)

印刷所 望月印刷株式会社